

あいち農産物生産流通レポート

平成26年11月号

情報サロン		
・豊橋次郎柿100周年で多彩なPR	(東京事務所)	1
地域トピックス		
・津島市・愛西市産いちごを使った、アイスクリーム を作りました！！	(海部農林水産事務所)	2
東日本情報		
・東京都中央卸売市場におけるミニトマトの動向	(東京事務所)	3
西日本情報		
・「愛知フェアinタイ・バンコク」を開催しました。	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・あいち花フェスタ2014のご案内	(園芸農産課)	8
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		10
・名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し		11
花 き		
・切花・鉢花の11月の見通し(県内市場)		23
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2014年8月)		27
関連指数		28

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

豊橋次郎柿100周年で多彩なPR

今年で、豊橋市石巻小野田町の農家が「次郎柿」の苗木を植栽し、結実してから100年を迎え、県内だけでなく首都圏においても多くのPR活動がなされています。

京浜市場における次郎柿

京浜市場では次郎柿は8月末からハウスものの入荷が始まり、10月中旬からは露地ものへに切り替わり12月中旬まで続きます。東京都中央卸売市場においては7割以上のシェアを誇っており日本一の産地です。初物は例年日本橋三越本店の「日本橋千疋屋」などの高級店で、1玉2,000～3,000円ほどで販売されます。

次郎柿ジュース

東京駅にある野菜や果物ジュース専門店「百果百菜」では、10月10日から31日まで「生誕100周年豊橋次郎柿ジュース」として販売されました。野菜ソムリエさんから『2014年秋限定、愛知県豊橋市の次郎柿は今年で生誕100周年。さっぱりとした甘みの次郎柿をたっぷり使用し、コクのあるカスピ海ヨーグルトをプラスしてまるやかに仕上げました。』と紹介されています。東京駅も今年100周年ということでキャッチーな商品として人気だったようです。



百果百菜の次郎柿ジュース

豊橋次郎柿トップセールス

10月31日には、大田市場においてJA豊橋の白井組合長と柿部会の鈴木部会長らが来場し、トップセールスを行いました。白井組合長からは「豊橋の次郎柿が100周年を迎えた。これからJA豊橋の青果物をよろしく」と、鈴木部会長からは、「旬の次郎柿をたくさん売って欲しい。」と挨拶されました。

また、都内と神奈川県内の量販店や小売店8店において豊橋次郎柿フェアが行われました。



大田市場でのトップセールス

津島市・愛西市産いちごを使った、アイスクリームを作りました！！

海部農林水産事務所は、平成23年6月に策定した「食と緑の基本計画2015海部地域推進プラン」で、「生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の推進」を施策に掲げ、農商工連携や6次産業に積極的な生産者の取り組みを支援しています。

これまでに、地域の特産物であるいちご（ゆめのか）を使ったケーキ開発やミニトマトを使った加工品開発などの取り組みを支援し、商品化を実現しました。

平成26年は、JAあいち海部と星野科学（株）、栄養職員が連携して、地域の特産物である「いちご」を使った「ゆめのか苺アイスクリーム」を開発しました。

この取り組みは、地元生産者の「安全・安心で美味しいいちごを、生食のみならず加工品としても全国の人に知ってもらいたい。」という思いを実現するため、アイスクリーム製作企業と協力し、海部地域の特産品であるいちごのPRと知名度の向上及び付加価値を高めることを目的としております。

ネーミングは、みんなのゆめのかなういちご（夢の葉う）から命名し、ジューシーな食感、適度な甘みと酸味があり、「さわやかな食味を地域の子供達に知ってもらいたい、食べてもらいたい。」という思いを込めました。

【ゆめのか苺アイスクリームを使った学校給食】

平成26年7月14日、愛西市立北河田小学校において、全児童に給食後のデザートとして提供し、試食を行いました。

試食をした児童からは、「甘くておいしい。」と好評でした。

現在、ゆめのか苺アイスクリームの商品化・販売に向けて、関係機関で調整中です。



東京都中央卸売市場におけるミニトマトの動向

ミニトマトは、一口サイズであることからサラダやお弁当などに多く利用されています。また甘みが強いといった特徴もあり、人気野菜として注目されている一品です。そこで、今回はミニトマトに関して、東京都中央卸売市場における入荷状況を報告します。

1 愛知県産ミニトマトの入荷状況

愛知県産ミニトマトの東京都中央卸売市場における主な入荷時期は10月から翌年7月でした（図1）。

愛知県産は、11月から6月までは占有率が20%を超えており、6月は25.3%を占めていました。またこの期間の占有率は、熊本県が28.4%、愛知県が21.2%、宮崎県が10.3%（図2）となっており、前回報告した大玉トマトよりも愛知県産の占有率は高く推移していました。

東京都中央卸売市場におけるミニトマトの月別入荷量については、図3に示したように本年（H25.10～H26.7）は、4月に前年を下回ったものの、それ以外ではすべての月で上回っていました。この期間の本年入荷量は17,344tで、過去5年平均、前年と比べるとそれぞれ35.5%、9.9%上回りました。

入荷量が伸びている要因としては、熊本や茨城県など出荷容器に3kg箱を採用している産地の作付面積が増加していることが考えられました。

単価については、前年は年内が高く、その後は過去5年平均を下回りました。本年は5月は高くなりましたが、そのほかの月では同等もしくは下回っていました。この期間の1kgあたり平均単価は597円で、過去5年平均、前年と比べるとそれぞれ1.8%、4.7%下回

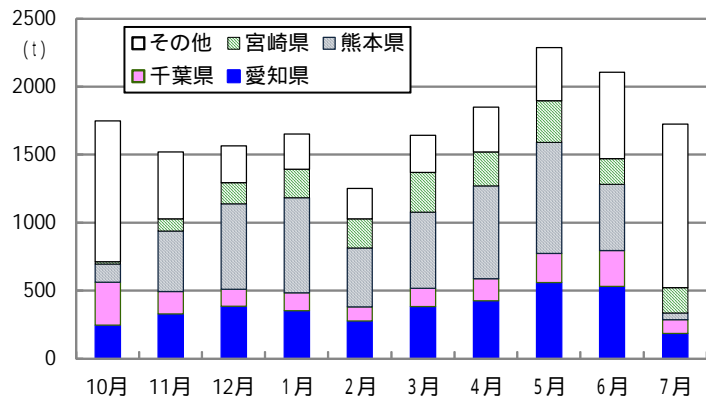


図1 ミニトマトの月別入荷量 (H25.10～H26.7)

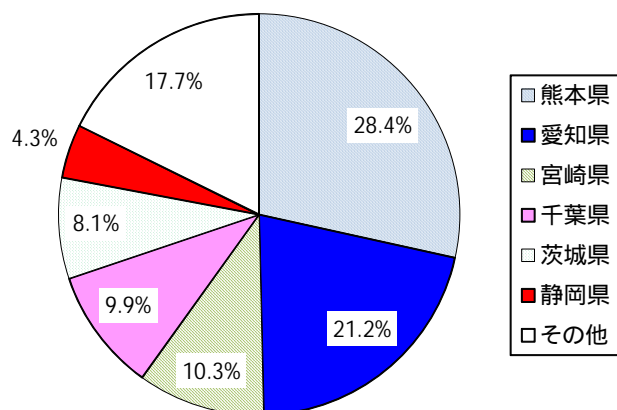


図2 ミニトマトの都道府県別占有率 (H25.10～H26.7)

りました。

単価が安くなった要因としては、年明け以降の冷え込みや降雪で消費が鈍くなったことが考えられました。

平成25年の東京都中央卸売市場における上位10都道府県の入荷量と主な入荷時期を表1に示しました。入荷量の第1位は熊本県で、愛知、茨城、千葉と続いていました。また愛知県と入荷時期が競合する地域は、熊本と千葉、宮崎県でした。

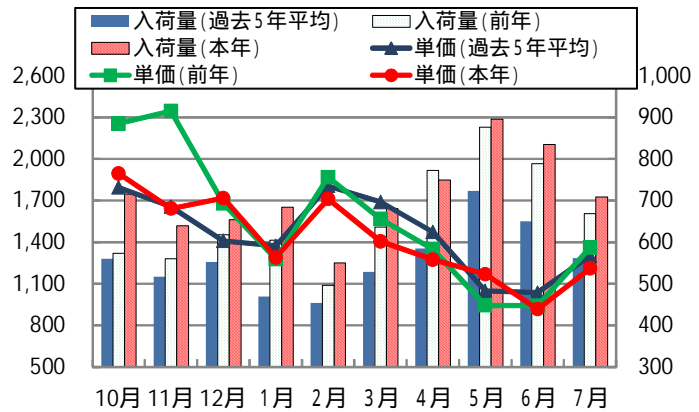


図3 ミニトマトの月別入荷量

表1 平成25年の東京都中央卸売市場におけるミニトマトの都道府県別入荷量と主な入荷時期

都道府県名	入荷量 (t)	占有率	主な入荷時期												
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
熊本	4,567	23.0%	■										■		
愛知	3,564	18.0%	■										■		
茨城	2,314	11.7%					■								
千葉	2,023	10.2%			■						■				
宮崎	1,520	7.7%		■										■	
北海道	1,505	7.6%					■								
静岡	698	3.5%	■										■		
福島	633	3.2%					■								
青森	555	2.8%						■							
群馬	533	2.7%		■								■			

「愛知フェア in タイ・バンコク」を開催しました

愛知県は、県産農林水産物及びその加工食品の輸出促進を図るため、これまで上海、香港において販売促進会と商談会を開催してきました。

本年度は、9月5日(金)から14日(日)まで、タイ王国の首都バンコクの高級百貨店であるサイアム・パラゴンで、販売促進会を開催するとともに、商談を行いましたので、その概要を紹介します。



サイアム・パラゴン正面玄関

1 販売促進会

(1) 出展者

農林水産物の生産者団体とその加工食品事業者等合わせて12事業者が出展しました。

	出展者名	所在地	主な出展商品	商品数
1	愛知県つまもの振興協議会	豊橋市	大葉、イタリアンパセリ	5
2	あいち豊田農業協同組合	豊田市	桃、梨	3
3	小笠原製粉(株)	碧南市	キリンラーメン	4
4	(株)金トビ志賀	蒲都市	きしめん、ひやむぎ、細うどん	3
5	(株)角谷文治郎商店	碧南市	梅酒	4
6	豊田市農産物ブランド化推進協議会	豊田市	しいたけ煎餅、ブルベリー飴	4
7	豊橋市	豊橋市	ブドウ、メロン、ハウス柿	3
8	土筆屋(株)	半田市	干し柿寒天、たこ天	5
9	(株)南山園	安城市	抹茶、抹茶アーモンド	5
10	(資)野田味噌商店	豊田市	味噌、味噌だれ、豆菓子	5
11	(株)平松食品	豊橋市	ごはんじゅれ、つくだ煮	5
12	(株)まるや八丁味噌	岡崎市	味噌、味噌だれ	5

(2) 販売促進会の販売額

販売額は、目標としていた100万バーツ(約330万円)を上回り、速報値で約125万バーツ(約410万円)でした。

(3) 販売促進会の様子

会場となったサイアム・パラゴンは、タイの富裕層が多くショッピングに訪れる高級百貨店です。タイでは桃や柿をはじめ日本の果物は人気があるといわれていることから期待されましたが、桃はフェア初日から売れ行きが好調で、時にはまとめて購入する客もいました。アールスメロンも人気があり、早くに完売してしまいました。ハウス柿は、日本円で1個約3,000円で販売していたにも関わらず、50個あまりが完売しました。客の中には値段は考えず購入する人もおり、富裕層の日本の果物に対する人気の高さが伺えました。

一方、加工食品は試食により味を知ってもらい、食べ方を提案しながら販売しました。タイでは日本食ブームということもあり、赤だし味噌

や醤油味のラーメンの売れ行きが良好でした。最近では、富裕層の中で健康志向が高まっており、抹茶及びその加工食品は健康的なイメージから人気がありました。乾麺は、細い麺の方が人気があり、うどんよりひやむぎの方が先に売れていきましたが、きしめんも興味を引いていました。試食では日本の麺つゆだけでなく、味噌だれや現地で販売されているラー油などを使って食べ方を提案することで販売が伸びました。つくだ煮も試食してもらうことで味が受け、売れていきました。お菓子は、現地に安価なものがあるため苦戦しましたが、原材料の農産物の味がしっかりするものは受け入れられる傾向にありました。

タイにおいて、日本の食品は注目されており、十分受け入れられるマーケットと思われま

2 商談会

出展者の方々は、現地の輸入事業者等を訪問したり、デュシタニホテルバンコクで開催されたジェトロ名古屋主催の商談会に参加するなど、精力的に商談を行いました。

商談では出展者それぞれが、小売向けや業務向けなど様々な自慢の商品をアピー



販売促進会の様子



販売促進会の様子

ルしました。また、現地輸入事業者と話す中で、タイへ向けて輸出するときにはE P A (二国間経済連携協定)の活用による輸入関税の軽減など価格をできるだけ抑えることが現地の商品と競争する上で重要であることや、富裕層の健康志向が高まってきたことから甘すぎない商品が求められていることなど、日本食品への要望や輸出のノウハウを取得していました。現在もいくつかの商談が成約に向けて継続されております。

3 知事トップセールス

今回のフェアでは、大村知事がフェア会場を訪れ、出展者の皆さんを激励するとともに、出展者と一緒に客に対して商品のPRを行いました。



知事の出展者激励



知事の出展者激励



試食品配布によるトップセールス



試食品配布によるトップセールス

あいち花フェスタ2014のご案内

あいち花フェスタは、花き産出額51年間全国1位の「花の王国あいち」をPRするとともに、花の消費拡大を図ることを目的に、一昨年度から県内各地域を回り持ちで開催している県民参加型の花のイベントです。



第3回となる今年度は、開港10周年を迎える中部国際空港セントレアで開催します。

知多のポインセチアを使った大きなクリスマスツリーなどのあいちの花をふんだんに使った展示や、生産者が育てた逸品を集めた花のコンテスト、知多地域の花の販売など、花いっぱいの会場がたくさんの来場者をお迎えします。

1 開催期間・会場

平成26年11月21日(金)～11月24日(月・振休) 午前9時～午後9時
中部国際空港セントレア 4階イベントプラザ 他

2 入場料

無料

3 主な内容

フラワーディスプレイ

知多のポインセチアを使った大きなクリスマスツリー、県花き連、知多10市町花き組合、全国都市緑化あいちフェア等による花いっぱいの装飾展示
ステージイベント

11月21日(金)

- ・オープニングセレモニー
- ・コケ玉づくり

11月22日(土)

- ・花男子パフォーマンス
- ・蟹江篤子さん(東海ラジオ「かにタク言ったもん勝ち」パーソナリティ)と小笠原誓さん(NHK「趣味の園芸」講師)によるトークショー

11月23日(日)

- ・知多娘。と知多地域のゆるキャラ®ステージ

11月24日(月・休)

- ・いけばなデモンストレーション
- ・戦国姫隊による全国都市緑化あいちフェアのPR
- ・花の模擬セリ体験

花育教室、県民参加による花等の展示、フラワーコンテスト（鉢物）
知多の特産品及び花きの販売 等

4 お問い合わせ先

あいち花フェスタ2014実行委員会事務局

（愛知県農林水産部園芸農産課内）

電話 052-954-6419（平日10時～17時）

詳しくは、あいち花フェスタ2014ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.aichi.jp/engei/hana-festa/hana-festa2014/>

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中心卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	うち愛知産	
25年実績	132	128 (97%)	645	熊本 (2%)
26年見通し	130	-	620	-
入荷量及び卸売価格の概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知からの入荷が中心となる。天候に恵まれ、生育は良好で特に久寿は豊作傾向。全体的に小玉傾向で、例年より玉数は多い。</p> <p>前進出荷となっており、10月下旬から11月にピークを迎える。価格は小玉(L以下)は安く、大玉(L以上)は高い。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>		<p>品種は6割が久寿、3割が藤九郎、1割がその他となっている。</p> <p>殻の取り方が分からない、加熱した際に殻が爆ぜるのが怖いという消費者がいるため、ぎんなん割り器が一般家庭にも普及していけば消費拡大に繋がるのでは。</p> <p>また、消費拡大に向けた取り組みに期待したい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：カリフラワー）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	うち愛知産	
25年実績	320	10 (8%)	255	埼玉 (33%) 新潟 (14%) 茨城 (10%)
26年見通し	320	-	250	-
概 要 と 見 通 し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県産の入荷は10月から始まり、2、3月にピークを迎える。</p> <p>10月上旬の台風18号が適度な降雨をもたらし、その後の好天で各産地とも生育が進み、出荷は前倒し傾向にある。作付面積は前年同様。</p> <p>全体の入荷量は少なかった前年並で、価格は高かった前年をわずかに下回る見込み</p>		<p>ブロッコリーの需要が大きく、入荷量は23年の515tから大幅に下回っているが、減少傾向はやや鈍化している。</p> <p>本県産は、量は少なくなったものの、高品質で高く評価され、昔からの固定客が多い。花蕾が出荷箱に接触しないように心がけ、日量格差の少ない安定した入荷が望まれる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し

名古屋市中央卸売市場

10月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	21年	35,346	173	178	165	177	北海道 32%
	22年	34,086	227	227	241	211	愛知 19%
	23年	35,272	171	176	165	171	茨城 14%
	24年	34,141	182	178	181	176	長野 7%
	25年	32,804	233	223	230	242	
	5ヵ年平均	34,330	197	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	34,000	185	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、愛知、茨城からの入荷が中心となる。産地によっては冷夏による生育不良の影響を受けているものがあるものの、全体的には作況は良い。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
だいこん	21年	2,382	59	61	60	54	愛知 43%
	22年	2,025	110	122	121	86	千葉 26%
	23年	2,651	64	80	60	56	青森 19%
	24年	2,245	67	73	66	63	新潟 4%
	25年	2,388	95	97	99	94	
	5ヵ年平均	2,338	78	86	80	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,300	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森、北海道は10月末で終了し、愛知、千葉からの入荷が中心となる。台風の影響が懸念されるが、おおむね生育は順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	21年	2,122	113	119	117	103	北海道 61%
	22年	2,111	142	132	180	125	愛知 15%
	23年	2,080	107	122	117	95	青森 10%
	24年	1,907	97	95	106	100	岐阜 8%
	25年	2,101	156	147	196	208	
	5ヵ年平均	2,064	124	124	144	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,300	120	110	120	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>11月前半までは北海道からの入荷が中心となり、その後愛知、岐阜からの入荷が始まる。今年は順調な生育で、出荷も安定するであろう。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

10月24日 現在

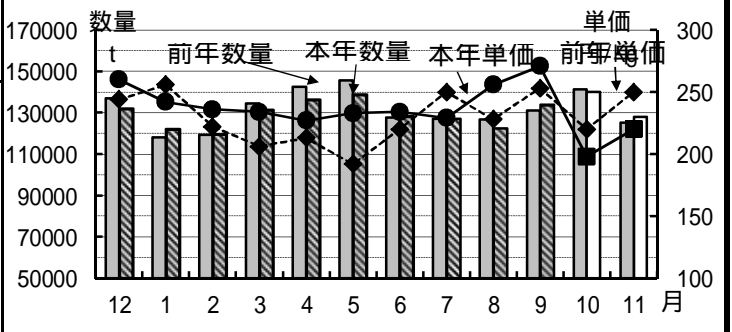
単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	21年	128,769	182	185	173	190	茨城 21%
	22年	121,395	252	265	261	231	北海道 19%
	23年	127,371	183	193	173	184	千葉 17%
	24年	129,972	199	198	198	200	青森 4%
	25年	125,287	250	245	247	256	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	126,559	213	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	128,000	220	-	-	-	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

関東産地からの入荷が中心で、土物類は前月に続き北海道からの入荷となり、果菜類は西南暖地からの入荷が増えてくる。10月の台風18、19号の影響は軽微で各産地潤沢入荷が期待できる。

入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。

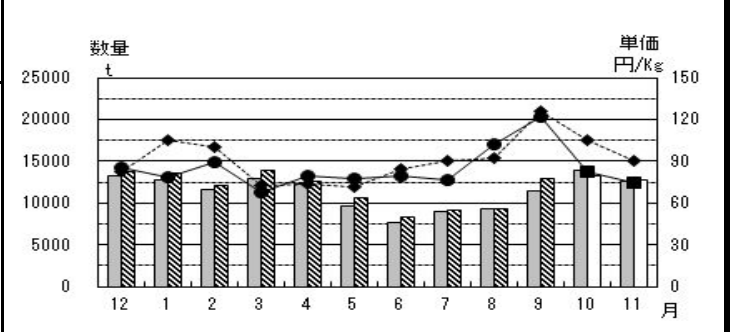


だいこん	21年	12,276	52	53	55	47	千葉 57%
	22年	11,872	110	137	120	79	神奈川 15%
	23年	12,415	58	71	56	47	青森 14%
	24年	12,878	60	66	56	57	茨城 7%
	25年	12,654	90	89	94	87	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,419	74	83	76	63	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	12,700	75	75	75	75	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

千葉、神奈川、青森からの入荷が中心となる。千葉は台風18号の影響で一部塩害や蒔き直しがみられる。神奈川も一部塩害があったが概ね生育良好。青森は終盤を迎える。

入荷量は前年並を見込み、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。

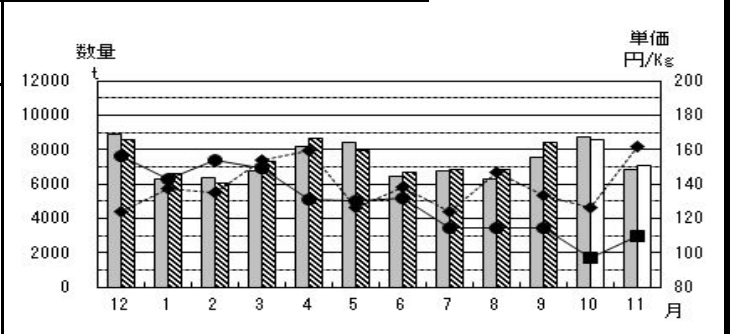


にんじん	21年	7,887	80	77	74	87	千葉 42%
	22年	6,989	127	122	118	139	北海道 32%
	23年	7,713	99	87	95	114	青森 10%
	24年	7,763	124	112	119	137	埼玉 6%
	25年	6,843	162	138	165	182	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,439	117	106	113	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	7,100	110	120	110	100	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

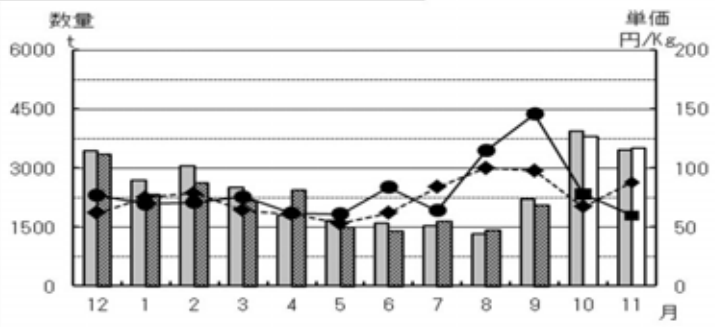
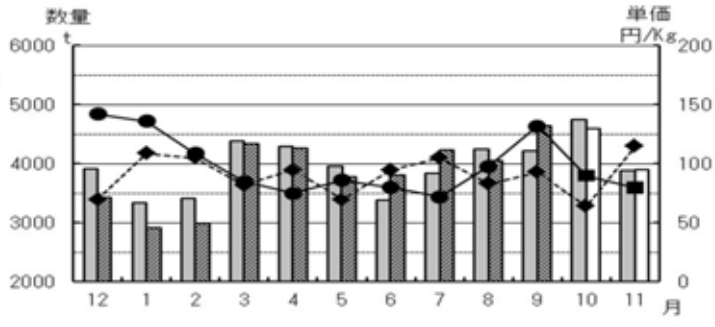
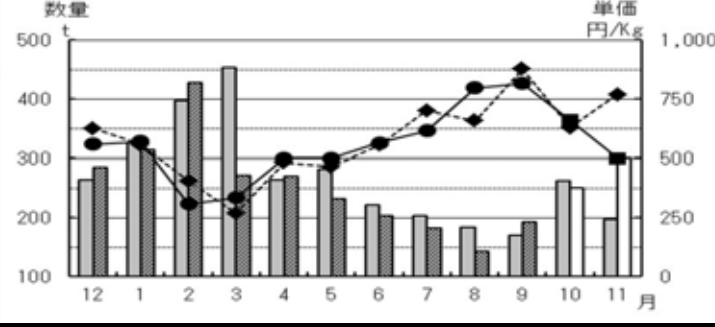
千葉、北海道、青森からの入荷が中心となる。千葉は日照不足や低温の影響で生育が遅れている地域があるが、出荷量は少なかった前年をかなり上回る見込み。北海道は生育良好でL品中心で終盤を迎える。

入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	21年	3,679	51	60	47	47	茨城 59% 愛知 19% 長野 17%
	22年	3,873	89	102	89	78	
	23年	3,906	47	53	42	49	
	24年	3,600	53	62	51	47	
	25年	3,466	88	91	101	76	
	5ヵ年平均	3,705	65	73	66	59	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	3,500	60	70	60	50		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		茨城、愛知、長野から入荷。台風、大雨の影響も大きくなく、全体的に順調。1/2サイズでの販売が主力である。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。					 <p>ほうきの数量と単価の12ヶ月推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね1,500tから3,000tの間で変動し、単価は50円/kgから150円/kgの範囲で変動しています。</p>
キャベツ	21年	3,384	42	46	39	40	愛知 53% 茨城 32% 北海道 5%
	22年	2,976	155	168	168	126	
	23年	4,113	63	78	57	57	
	24年	4,055	46	48	45	47	
	25年	3,882	115	108	113	127	
	5ヵ年平均	3,682	81	86	81	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	3,900	80	90	80	70		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		愛知からの入荷が中心となり、茨城が続く。両産地とも作況は良好。出荷量も潤沢で価格は下落傾向。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。					 <p>キャベツの数量と単価の12ヶ月推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね3,000tから5,000tの間で変動し、単価は50円/kgから150円/kgの範囲で変動しています。</p>
ほうれんそう	21年	376	495	479	526	477	愛知 43% 岐阜 21% 群馬 16% 茨城 9%
	22年	483	269	345	231	282	
	23年	483	269	345	231	282	
	24年	273	526	505	510	585	
	25年	199	770	791	767	775	
	5ヵ年平均	363	409	446	393	422	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	300	500	450	500	550		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		愛知、岐阜からの入荷が中心となる。露地物は雨の影響を受けやすいが、ハウスものは潤沢に出ており、生育は若干遅れ気味であるが、順調である。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					 <p>ほうれんそうの数量と単価の12ヶ月推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね200tから500tの間で変動し、単価は250円/kgから750円/kgの範囲で変動しています。</p>

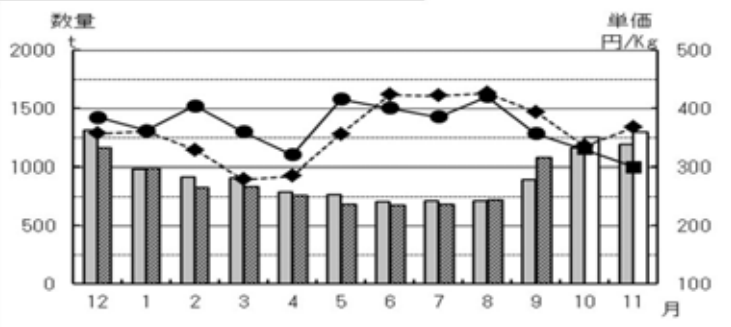
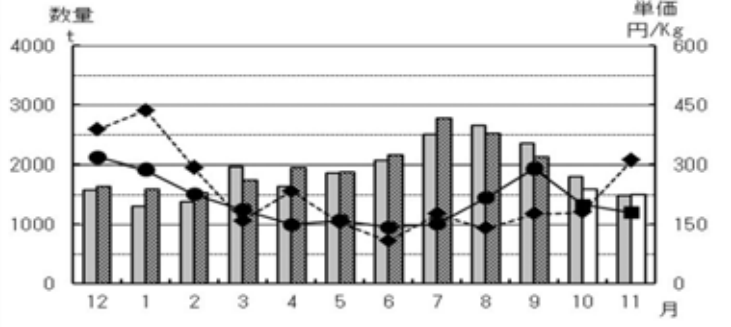
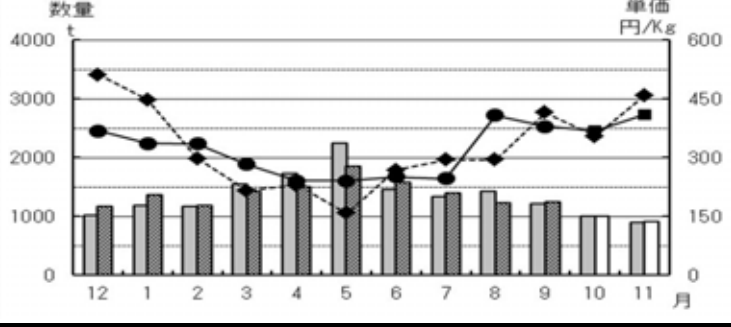
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	21年	12,751	39	43	38	34	茨城 83%
	22年	13,421	83	97	84	69	長野 10%
	23年	12,727	35	42	32	31	群馬 4%
	24年	13,079	42	50	39	37	北海道 1%
	25年	13,853	75	79	84	63	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	13,166	55	63	56	47	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	14,000	55	60	55	50	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、長野からの入荷が中心となる。茨城は台風18、19号の影響で一部冠水がみられたが、全体的には生育良好。長野は終盤を迎えるが生育良好で潤沢な入荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並を見込み、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>ほうきさいの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は12月約15000t、11月約13000tと変動しています。単価は12月約60円/kg、11月約70円/kgと変動しています。</p>					
キャベツ	21年	13,888	44	44	43	46	千葉 39%
	22年	11,324	154	162	170	128	愛知 24%
	23年	13,459	61	73	55	56	茨城 18%
	24年	14,000	49	47	47	52	群馬 6%
	25年	13,300	113	96	112	132	(愛知産比率 24%)
	5ヵ年平均	13,194	81	81	82	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	13,800	80	75	80	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、愛知、茨城からの入荷が中心となる。千葉は台風の影響で一部塩害がみられ小玉化が懸念される。本県産は生育良好で潤沢な入荷が期待できる。茨城も生育良好。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は12月約13000t、11月約14000tと変動しています。単価は12月約100円/kg、11月約120円/kgと変動しています。</p>					
ほうれんそう	21年	1,771	373	456	311	379	群馬 47%
	22年	1,649	496	503	542	441	茨城 15%
	23年	1,938	253	324	198	239	栃木 10%
	24年	1,604	461	451	426	517	千葉 9%
	25年	1,255	651	640	648	662	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	1,643	429	461	405	429	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,400	430	430	430	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、栃木、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも台風の影響は少なく、生育は概ね良好。群馬は施設倒壊分を露地で補っており、出荷量は前年を上回る見込み。</p> <p>入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は12月約1500t、11月約1300tと変動しています。単価は12月約500円/kg、11月約600円/kgと変動しています。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
ねぎ	21年	1,468	319	338	302	318	北海道 22%
	22年	1,282	394	470	375	370	長野 13%
	23年	1,380	239	233	239	257	富山 11%
	24年	1,311	323	333	327	320	愛知 9%
	25年	1,194	368	356	359	389	
	5カ年平均	1,327	326	344	318	329	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,300	300	300	300		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に、長野、富山、愛知など幅広く入荷。いずれの産地も昨年より順調ではあるものの、不安定要素もあり細物が主流となりそう。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
レタ	21年	1,532	131	129	97	180	茨城 45%
	22年	1,496	212	214	219	202	愛知 35%
	23年	1,631	141	157	111	166	静岡 9%
	24年	1,362	226	207	203	280	福岡 3%
	25年	1,498	311	288	284	370	
	5カ年平均	1,504	202	198	181	237	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,500	180	190	180	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からの入荷が終了し、茨城、愛知からの入荷が中心となる。茨城は10月下旬が出荷のピークとなり、生育も順調で2Lの大玉が主流となる。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅう	21年	1,047	346	311	262	496	愛知 34%
	22年	1,100	390	577	325	305	宮崎 24%
	23年	2,316	221	166	233	276	群馬 15%
	24年	978	346	375	348	324	高知 10%
	25年	897	458	616	423	392	
	5カ年平均	1,268	324	357	298	341	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	920	410	450	400	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東から西日本へと産地が切り替わる。露地物を中心に生育は良くなく、出荷量も不安定。また、質も良くなく、価格も下落傾向。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	5,782	246	252	236	250	青森 16%
	22年	5,413	337	436	289	295	茨城 13%
	23年	5,991	171	162	156	194	秋田 11%
	24年	5,815	270	277	282	252	埼玉 10%
	25年	6,274	268	255	274	277	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,855	257	273	247	253	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	6,400	220	220	200	240		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、秋田はピークを過ぎ、茨城など関東産地からの入荷が本格化してくる。東北産地は台風の影響がなく生育良好。青森は2L品中心が見込まれる。茨城は一部で軟腐病等病害が発生したが生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
しそ	21年	6,986	113	109	86	154	茨城 60%
	22年	6,558	203	187	224	197	兵庫 10%
	23年	7,594	126	134	95	151	静岡 7%
	24年	6,335	205	176	185	266	長崎 7%
	25年	6,970	285	255	249	349	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	6,889	185	171	165	222	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	6,800	180	160	180	200		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫、静岡、長崎からの入荷が中心。茨城は一部で台風による冠水がみられたが生育は概ね良好。兵庫は8月の天候不良で定植作業が7日程度遅れた。静岡は台風の影響で根傷みや葉の破損が発生。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	21年	4,726	343	292	262	507	埼玉 26%
	22年	4,717	385	533	338	316	宮崎 21%
	23年	4,798	359	344	332	397	群馬 19%
	24年	4,792	349	361	336	347	千葉 10%
	25年	4,551	462	572	438	398	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	4,717	379	419	340	393	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	4,450	400	420	380	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉、宮崎、群馬、千葉からの入荷が中心で高知からの入荷が増えてくる。埼玉、群馬は作付減。宮崎は作型変更で年内出荷は前年より少ない見込み。千葉は面積変わらず11月中旬頃から量が出そろう模様。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	21年	512	329	292	336	366	熊本 51%
	22年	516	343	292	336	366	愛知 45%
	23年	588	281	262	287	310	高知 4%
	24年	471	362	339	379	384	徳島 1%
	25年	416	460	454	458	450	
す	5ヵ年平均	501	349	321	353	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	450	393	380	400	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>愛知、熊本から入荷。熊本産は10月から入荷が始まっている。作付けの遅れから、出荷量に影響がでる恐れあるも、全体的には良好。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
マ	21年	1,058	219	230	183	259	熊本 45%
	22年	776	451	456	524	380	愛知 23%
	23年	783	398	444	367	412	三重 13%
	24年	823	518	570	576	427	岐阜 11%
	25年	834	465	422	465	521	
ト	5ヵ年平均	855	399	413	409	392	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	850	430	400	450	450	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>熊本を中心に、愛知、三重から入荷。夏秋ものは終了し、秋冬ものが入荷。生育は良好で、これからの冷え込みで量も落ち着くと思われる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ	21年	276	445	480	442	415	愛知 47%
	22年	213	806	900	895	663	熊本 41%
	23年	282	673	712	648	639	北海道 7%
	24年	282	959	1,154	904	805	
	25年	324	756	727	748	774	
ト	5ヵ年平均	275	726	789	721	664	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	330	766	800	800	700	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>愛知と熊本の秋冬ものの入荷が中心となる。両産地とも生育は順調であり、出荷量も安定する。需要もあり、高値で推移する。 入荷量、価格ともに前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	21年	2,199	367	309	384	430	高知 59%
	22年	2,397	372	322	405	391	福岡 16%
	23年	2,606	340	310	318	410	栃木 6%
	24年	2,378	370	316	372	441	熊本 5%
	25年	2,147	470	478	450	486	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,345	381	344	383	430	前年及び本年の
	26年見通し	2,150	400	360	400	440	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡、栃木、熊本からの入荷が中心となる。高知、福岡は台風等天候不良の影響は軽微で生育は概ね良好。栃木は終盤を迎え、気温低下で果実肥大遅延、アザミウマ類の発生等で品質低下がみられる。</p> <p>入荷量は少なかった前年並を見込み、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	21年	6,321	232	246	191	275	熊本 35%
	22年	4,631	468	470	535	398	千葉 17%
	23年	5,088	411	435	375	426	愛知 14%
	24年	4,774	554	591	613	462	茨城 10%
	25年	4,602	480	424	475	545	(愛知産比率 14%)
	5ヵ年平均	5,083	416	422	421	412	前年及び本年の
	26年見通し	4,700	430	420	430	440	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、千葉、愛知、茨城からの入荷が中心となる。熊本と本県からの入荷が本格化する。熊本は作付け面積増加で生育良好。千葉は低温の影響で着色遅れるも生育良好。本県産は順調な出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	21年	1,370	408	429	365	438	熊本 29%
	22年	950	801	905	903	627	愛知 22%
	23年	1,260	640	671	611	634	千葉 11%
	24年	1,281	915	1,136	834	780	茨城 10%
	25年	1,519	681	677	670	695	(愛知産比率 22%)
	5ヵ年平均	1,276	679	749	660	635	前年及び本年の
	26年見通し	1,520	640	620	640	660	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、千葉、茨城からの入荷が中心となる。熊本、本県は台風の影響は軽微で、ほぼ順調な生育で中旬以降から本格的な出荷となる見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格は高値の前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
ピーマン	21年	465	375	416	345	357	鹿児島 38%
	22年	479	393	380	418	382	宮崎 31%
	23年	447	306	295	333	354	高知 15%
	24年	509	236	279	271	242	
	25年	459	470	515	486	433	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	472	354	375	369	351	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	460	380	360	380	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		夏秋もの入荷が終わり、鹿児島、宮崎など西南暖地の促成ものが入荷する。各産地とも作況は良好である。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
ばいしょ	21年	2,934	107	104	102	117	北海道 94%
	22年	2,812	138	137	152	127	長崎 6%
	23年	2,423	101	97	106	99	埼玉 0%
	24年	2,484	82	81	80	86	
	25年	2,649	100	99	107	98	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	2,660	106	104	110	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,700	90	90	90	90	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		ほぼ北海道からの入荷となる。現在掘り取りの最中。これから最盛期を迎える。生育は順調でL玉が中心となる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。					
たまねぎ	21年	5,565	81	85	86	74	北海道 97%
	22年	5,161	115	100	124	123	中国 2%
	23年	5,127	82	90	85	87	アメリカ 1%
	24年	5,256	66	68	67	67	兵庫 0%
	25年	4,774	109	109	116	121	
ねぎ	5カ年平均	5,177	90	90	95	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	5,200	75	75	75	75	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		ほぼ北海道からの入荷となる。生育はおおむね順調で、L玉以上の大玉が中心となる。前年は少なかったが、今年は潤沢となる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピ	21年	1,760	332	437	269	298	茨城 54%
	22年	1,653	388	374	418	366	宮崎 23%
	23年	1,683	268	228	259	326	高知 13%
	24年	1,919	213	216	202	210	鹿児島 7%
	25年	1,751	471	544	472	417	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,753	334	360	324	323	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
マ	26年見通し	1,700	340	300	350	350	
ン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城を中心に高知、宮崎などから入荷する。茨城は着果不良もみられたが、まずまずの着果数を確保している。宮崎はおおむね順調で下旬には数がまとまる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は品薄感が強かった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ば	21年	7,281	127	123	127	131	北海道 99%
	22年	7,094	155	154	157	155	長崎 1%
	23年	6,997	111	115	111	108	
	24年	8,232	87	86	87	88	
	25年	8,433	106	104	106	107	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	7,607	117	116	118	118	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
れ	26年見通し	9,000	90	90	90	90	
い	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>北海道から入荷する。道南産地は天候もよく、順調に収穫が進んでいる。肥大はばらつきがあるがやや小玉が多くL中心。十勝も生育良好。2L中心で大玉傾向となっている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
た	21年	9,472	100	98	99	103	北海道 90%
	22年	10,096	139	135	137	145	中国 4%
	23年	9,530	91	92	91	90	米国 4%
	24年	10,967	70	71	70	70	兵庫 1%
	25年	10,113	117	112	119	120	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	10,036	103	102	103	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ま	26年見通し	10,800	80	80	80	80	
ね	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>北海道から入荷する。北見地域は不作の前年から平年作に回復し、玉肥大も良好。空知地域は小玉傾向だが、平年並みの出来。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ぎ							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	21年	14,213	209	206	213	静岡	15%
	22年	12,148	271	269	290	フィリピン	13%
	23年	12,304	251	244	243	長野	12%
	24年	12,156	238	244	253	岐阜	11%
	25年	11,404	283	272	286		
	5ヵ年平均	12,445	249	-	-		
	26年見通し	12,100	240	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
みかん、りんご、かき中心に入荷する。台風等の影響も大きくなく、全体的には順調な傾向。いちごも早いものは出てくる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
み か ん	21年	4,900	159	155	145	静岡	38%
	22年	4,365	243	253	251	和歌山	19%
	23年	5,005	178	197	166	愛知	14%
	24年	4,215	206	213	202	三重	14%
	25年	4,342	228	241	221		
	5ヵ年平均	4,565	201	-	-		
	26年見通し	4,300	210	210	210	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
静岡を中心に三重、和歌山、愛知などから入荷。生育は順調ではあるが、前年並みの量に落ち着く。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							
か き	21年	3,157	171	175	173	岐阜	61%
	22年	1,821	328	326	368	和歌山	15%
	23年	2,329	278	285	292	三重	11%
	24年	2,972	188	200	197		
	25年	2,110	285	292	294		
	5ヵ年平均	2,478	238	-	-		
	26年見通し	2,700	220	220	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
岐阜を中心に和歌山、三重、愛知などから入荷。前半は愛知、三重の次郎柿、後半は岐阜の富有柿が中心となる。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	実績と見通し	入荷量		卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
果 実 計	21年	52,440	209	208	204	215	愛媛	18%
	22年	46,796	274	263	271	289	熊本	10%
	23年	45,566	265	257	263	273	山形	9%
	24年	49,482	249	237	249	262	和歌山	8%
	25年	45,920	291	282	290	299	(愛知産比率 2%)	
	5カ年平均 26年見通し	48,041 48,000	256 270	- -	- -	- -	- -	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんご、かき等が入荷する。りんごは「ふじ」中心に入荷する。中心は40玉・36玉で玉肥大もよく大玉傾向で着色もよい。山形の西洋なしは着果不良や雹害の影響で少なめの入荷となる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>						
み か ん	21年	23,100	162	173	159	157	愛媛	35%
	22年	20,154	243	222	248	251	熊本	18%
	23年	20,912	209	213	218	199	長崎	18%
	24年	21,170	231	220	236	235	和歌山	14%
	25年	21,812	244	233	251	243	(愛知産比率 0%)	
	5カ年平均 26年見通し	21,430 23,000	210 230	206 220	214 230	209 230	- -	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛媛、熊本、長崎中心に入荷。極早生から早生に切り替わる。玉の肥大もよくM、L中心のサイズとなる。9月の好天で食味もよく仕上がりがいい。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>						
か き	21年	7,825	194	183	196	207	奈良	18%
	22年	6,491	327	310	327	356	新潟	16%
	23年	6,577	261	242	266	289	和歌山	13%
	24年	9,326	181	183	179	181	福岡	11%
	25年	7,052	275	279	276	269	(愛知産比率 11%)	
	5カ年平均 26年見通し	7,454 7,300	241 260	234 240	242 270	253 280	- -	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「平核無」は和歌山、新潟、「富有」は奈良、福岡、岐阜から入荷する。全体的に豊作気味の年。「富有」は生育順調で着果もよくやや前進して出荷がある。「平核無」も前進して着果が進んでいる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>						

切花・鉢花の11月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 10月28日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実 績	21年	2,339	51	
		22年	1,498	56	
		23年	1,844	47	
		24年	1,819	44	
		25年	1,713	58	
	5ヶ年平均		1,843	51	
	26年見通し		1,750	55	
概要	静岡、長野、岐阜の産地中心に入荷。稽古需要は少ないが、アレンジ系に使う品物は堅調な動きを見みせる。				
小 ぎ く	実 績	21年	1,303	22	
		22年	607	26	
		23年	1,000	21	
		24年	731	26	
		25年	788	37	
	5ヶ年平均		886	26	
	26年見通し		800	30	
概要	愛知、奈良中心に、中旬には沖縄からも入荷し始める。台風被害もあまりなく、生育は順調であるが、地物はあまり多くなく、沖縄産が出てくるまでは少なめで、堅調な相場で推移すると思われる。				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	21年	1,300	27	
		22年	892	39	
		23年	1,169	27	
		24年	871	42	
		25年	1,173	39	
	5ヶ年平均		1,081	34	
	26年見通し		1,100	39	
概要	長野、愛知、北海道から入荷。高冷地産は6月から前進傾向で10月に入り、夜温が例年よりも低いため、急減し、県内物も前進で始まり、9月中にピークがあったことと、夜温が低いために11月は品薄傾向。需要もあり、堅調に推移すると思われる。				
か す み 草	実 績	21年	172	65	
		22年	87	114	
		23年	141	73	
		24年	120	111	
		25年	148	85	
	5ヶ年平均		134	86	
	26年見通し		140	85	
概要	高知、和歌山、九州から入荷。高冷地産も前半まではありそう。数量は前半やや多めの入荷となるが、業務の動きもあり、価格は中値から高め。中旬以降の量次第で安くなることも考えられる。品質はいい物が出回るだろう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	21年	369	147	
		22年	258	214	
		23年	408	159	
		24年	122	122	
		25年	335	172	
	5ヶ年平均	298	165		
26年見通し	320	170			
概要	<p>オリエンタルは高知、新潟、埼玉、静岡、県内などから入荷。前半はやや多めの入荷。LAは高知、埼玉などから入荷。数量はやや少なめ。鉄砲は高知、鳥取から入荷。やや少なめだが、生育は問題なく、業務中心の動きとなる。前半から中旬の動きは良さそうだが、中旬以降は厳しい販売となりそう。</p>				
洋らん	実績	21年	404	76	
		22年	447	74	
		23年	529	68	
		24年	518	77	
		25年	488	96	
	5ヶ年平均	477	78		
26年見通し	480	85			
概要	<p>愛知、鹿児島、高知、徳島、輸入等から入荷。全般的には入荷は多めとなりそう。10月は堅調だったが、年末にむけて若干落ち着いた動きとなりそう。</p>				
ばら	実績	21年	997	80	
		22年	844	77	
		23年	985	78	
		24年	997	85	
		25年	940	90	
	5ヶ年平均	953	82		
26年見通し	950	85			
概要	<p>愛知、三重、和歌山主体の入荷。主力は暖地産になり、輸入は引き続き。11月は日柄に恵まれ、ブライダル等も多く、堅調に推移する見込み。</p>				
枝も	実績	21年	1,420	42	
		22年	1,495	41	
		23年	880	54	
		24年	1,786	43	
		25年	1,702	47	
	5ヶ年平均	1,457	45		
26年見通し	1,700	45			
概要	<p>静岡、長野、岐阜の産地中心に入荷。稽古需要は少ないが、アレンジ系に使う品物は堅調な動きを見せる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	21年	16,955	650	
		22年	14,576	576	
		23年	15,362	773	
		24年	16,465	789	
		25年	12,952	856	
	5ヶ年平均		15,262	726	
	26年見通し		13,000	800	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。中鉢が主体で大鉢は減少か。ケースもの、ポットものは昨年並み。単価面は耐寒性のないものについては、厳しいと予想。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(76.7%)、2位鹿児島県(12.0%)、3位愛媛県(4.0%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	21年	41,780	408	
		22年	63,101	418	
		23年	54,817	460	
		24年	49,694	415	
		25年	38,620	417	
	5ヶ年平均		51,478	424	
	26年見通し		38,000	415	
概要	<p>年々、11月の注文数が減少傾向の為、入荷量は昨年並みか。単価面は、厳しいと予想。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(83.4%)、2位茨城県(7.5%)、3位埼玉県(6.5%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	21年	837,794	300	
		22年	928,898	294	
		23年	717,401	272	
		24年	814,870	280	
		25年	866,458	276	
	5ヶ年平均		821,793	285	
	26年見通し		870,000	275	
概要	<p>入荷量はやや増加か。特に4号鉢が増加傾向である。5号鉢は徐々に増加し、下旬がピークとなる。単価面は上中旬は安定するが、下旬はやや下降傾向と予想。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(31.8%)、2位長野県(18.1%)、3位山形県(10.3%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	21年	66,856	2,300	
		22年	53,025	2,548	
		23年	51,124	2,387	
		24年	57,593	2,447	
		25年	66,499	2,358	
	5ヶ年平均	57,120	2,422		
	26年見通し	57,000	2,350		
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。全体の作付量の減少と生育遅れが影響。単価面は上旬は安定相場であるが、中旬以降は厳しいと予想。 昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（49.6%）、2位徳島県（9.9%）、3位高知県（8.5%）となっている。</p>				
カラッコ	実績	21年	53,539	170	
		22年	45,425	203	
		23年	35,110	194	
		24年	38,350	179	
		25年	32,012	173	
	5ヶ年平均	42,085	184		
	26年見通し	32,000	170		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。例年に比べ、夏場の暑さの影響が少なく、極めて順調な仕上がり。単価面は、この月は物日がない分、厳しと予想。 昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜県（67.2%）、2位埼玉県（26.1%）、3位茨城県（5.7%）となっている。</p>				
パンジー	実績	21年	1,137,161	41	
		22年	1,038,827	53	
		23年	1,071,742	35	
		24年	1,085,130	49	
		25年	939,240	49	
	5ヶ年平均	1,076,572	45		
	26年見通し	1,000,000	48		
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。例年に比べ、夏場の暑さの影響が少なく、極めて順調な仕上がりで、中旬までに集中か。中旬以降は良品不足になる可能性あり。単価面は、昨年と同様、安定と予想。 昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（41.0%）、2位奈良県（21.0%）、3位三重県（13.1%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2014年)

1 輸入実績

品名	8月						8月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	52,439	103.8	6,103,162	94.8	116	91.3	599,505	117	61,666,186	103	103	88
トマト	592	73.2	218,309	78.2	369	106.8	4,674	92	1,812,045	96	388	105
たまねぎ	26,163	114.3	1,176,890	128.6	45	112.5	247,112	146	12,021,079	116	49	79
にんにく	1,895	87.4	334,169	91.1	176	104.1	12,588	101	2,085,633	85	166	84
ねぎ	4,467	90.7	446,220	81.1	100	89.5	37,448	106	3,928,724	101	105	95
ブロッコリー	2,433	97.6	466,367	87.3	192	89.4	23,703	92	4,732,314	98	200	106
結球キャベツ	879	87.9	30,536	76.7	35	87.2	27,650	140	1,125,691	148	41	106
にんじん・かぶ	5,629	82.9	223,968	55.3	40	66.6	51,040	96	2,635,251	89	52	93
ごぼう	3,814	158.2	206,728	111.1	54	70.2	30,945	129	2,483,752	195	80	151
えんどう	26	27.4	9,533	30.2	367	110.5	539	39	184,804	38	343	98
アスパラガス	135	96.9	95,480	96.5	707	99.6	7,758	111	4,394,971	112	567	100
まつたけ	274	90.1	1,014,214	95.0	3,702	105.4	332	76	1,316,527	84	3,965	110
しいたけ	71	90.8	30,647	93.9	432	103.4	1,572	75	604,846	85	385	112
かぼちゃ	410	56.3	46,639	67.3	114	119.5	81,212	94	6,532,483	99	80	105
果実(生鮮・乾燥)	135,621	88.7	22,172,772	107.1	163	120.8	1,185,430	94	198,197,343	109	167	116
バナナ	75,597	93.4	7,149,083	105.4	95	112.9	641,616	97	57,785,652	105	90	109
パイナップル	12,241	73.4	930,569	84.4	76	115.0	115,681	93	8,490,694	111	73	120
レモン	5,256	101.9	788,213	117.5	150	115.3	32,762	98	6,187,588	135	189	138
オレンジ	8,990	78.7	1,114,355	91.1	124	115.7	66,444	74	9,611,143	97	145	131
グレープフルーツ	8,787	81.3	681,545	87.4	78	107.6	94,486	86	9,829,327	92	104	107
メロン	1,876	80.1	210,159	99.5	112	124.2	22,666	91	2,483,551	94	110	103
ぶどう	3,002	478.9	944,794	496.4	315	103.7	21,907	153	5,812,005	172	265	112
キウイ	5,912	63.3	1,758,156	65.8	297	103.9	50,594	107	17,968,428	117	355	110
いちご	591	100.2	581,902	104.1	985	103.9	1,501	100	1,473,673	103	982	103
切花(生鮮・乾燥)	4,429	89.1	3,742,348	97.0	845	108.9	26,989	92	23,373,242	101	866	110
鳥獣肉類	176,100	109.2	90,549,431	117.9	514	108.0	1,284,712	107	642,836,245	113	500	106
牛肉(くず肉含む)	58,244	106.3	31,690,557	120.0	544	112.8	340,433	93	185,544,445	102	545	110
豚肉(くず肉含む)	68,952	106.6	38,560,156	112.6	559	105.7	565,682	116	309,235,080	120	547	104
鶏肉	38,245	118.5	11,382,229	133.4	298	112.6	301,505	107	85,648,464	112	284	104
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	129,183	95.0	90,868,055	105.6	703	111.2	1,064,128	95	707,808,305	107	665	113
まぐろ類	18,261	131.6	15,060,886	131.6	825	100.0	134,125	100	120,959,385	110	902	110
さば・さんま・あじ・いわし	3,388	103.6	816,370	98.7	241	95.3	46,263	109	10,676,334	132	231	121

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	1,378	161.5	1,111,685	172.8	807	107.0	10,525	114	5,318,226	132	505	116
うんしゅうみかん	15	98.6	18,792	105.9	1,253	107.4	286	164	189,528	175	663	107
りんご	113	107.4	70,173	124.5	621	116.0	8,199	106	3,119,442	118	380	112
なし	584	158.6	327,304	172.1	560	108.5	594	154	332,987	167	560	109
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	343,929	132.9	-	-	-	-	2,206,338	123	-	-
緑茶	285	125.1	642,680	117.6	2,255	94.1	2,119	120	4,857,572	120	2,293	100

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

年 月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年 5月	103.5	97.2	115.0	106.8	111.3
	6月	103.4	94.9	110.3	107.5	111.6
	7月	103.6	94.2	109.7	109.8	113.0
	8月	102.9	93.2	110.9	106.7	110.1
	愛 知 県	24年平均	99.7	98.0	105.3	99.1
25年平均		100.1	105.2	104.9	100.1	103.2
26年 5月		102.9	102.3	117.2	101.1	107.9
6月		103.2	98.7	113.0	106.4	112.1
7月		103.5	98.7	111.6	107.2	111.4
8月		102.7	99.7	112.5	104.2	109.4

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	105.5	106.3	100.9	103.3	112.6
	26年 5月	105.8	103.6	98.5	97.0	115.4
	6月	100.3	102.5	91.9	95.3	119.7
	7月	100.6	102.4	95.6	96.1	118.5
	8月	101.1	100.9	97.2	95.9	115.8

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
		5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均		2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
26年 5月		2,047	154	187	562	413	322	161	466	310	503	645	149	523
6月		1,969	135	196	707	329	337	165	333	263	499	545	153	669
7月		1,934	147	192	699	330	343	169	365	280	535	580	152	637
8月		1,945	149	190	698	346	339	164	367	266	545	568	146	654
年 月	品目 単位	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均		581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
26年 5月		363	430	159	251	801	541	164	180	332	232	851	409	
6月		364	459	246	852	530	160	186	348	239	847	427		
7月		690	348	446	240	847	562	169	176	335	246	860	413	
8月		699	357	476	258	861	558	160	178	348	241	849	420	

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 497
平成26年11月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421